



市川市立妙典中学校だより 6月号

# 息吹 03



学校教育目標 未来を拓く妙典中学生 ~明るく・正しく・美しく~

〇ふれあいを大切にする生徒 〇進んで学ぶ生徒 〇頑張り抜く生徒 令和3年6月21日

〔表題「息吹」は、妙典中学校歌、2番の歌詞「♪~世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん~♪」から付けました。「03」は令和3年度を表しています。生きる力を身につけ、未来を拓く妙典中学生の育成を目指します。〕

## 新しい学習指導要領による学び

6月は、今まで祝日が置かれたことがない唯一の月です。大型連休のあった5月、夏休みを迎える7月と比べて、じっくり学校生活を行える月だと思います。梅雨に入りジメジメとした気候が続きますが、体調管理をしっかりと行い、適度な運動と休養・栄養に気を付けて、日々の授業・部活動・専門委員会・学級の活動に積極的に取り組み、充実した月にしてほしいと思います。

さて、新しい学習指導要領による学習がスタートして約3か月が経ちました。これまでも様々な機会でお伝えしていますが、新しい学習指導要領では、情報化や技術革新、グローバル化等により予測を超えて加速度的に進展することが予想される中、変化の激しい社会を生きるために必要な「生きる力」の育成を目指しています。子供たち一人一人の「生きる力」を育てるために、実際の社会や生活の中で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の三つの資質・能力をバランス良く育むことが新学習指導要領の理念です。

本校の教職員も学校全体あるいは教科ごとに研究・研修や話し合いを重ね、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、「一つ一つの知識がつながり、『わかった!』『おもしろい!』と思える授業」「見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業」「周りの人たちと共に考



え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業」「自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業」など、子供たちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けられるようになることを目指した授業改善に取り組んでいます。

また、重視する資質・能力が変われば評価の仕方も変わります。これまでのように主に知識の定着度や理解度を点数化して成績をつけるだけでは不十分です。適切な評価は一人一人の子供たちが自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かすために欠かせないだけでなく、教員が教育の効果を常に検証して改善するためにも大切なことだと考えています。先日行われた定期試験に加え、技能や作品、授業や課題への取組、レポート、振り返りシートなど、子供たちが身に付けた力や課題となる部分を様々な形でみとる工夫をしています。

今後も、新学習指導要領による学習をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。「学校の授業どう? 何か変わった?」とお子様に聞いてみてください。

## 教育相談週間



新年度が始まって緊張感をもって学校生活をスタートした子供たちも、約3か月が経過し、体育祭や生徒総会といった大きな学校行事や今年度初めての定期試験も終わって、だいぶ心も体も疲れが出てきている頃かと思えます。また、特に1・2年生は新しいクラスメイトとの生活に慣れてきたと同時に、少しずつ人間関係のストレスも現れ始める時期かもしれません。

はっきりした悩みがある人、小さなことでも何となく気になることがある人、言葉にならないけど何か気持ちがもやもやする人……6月22日(火)からの教育相談では、ぜひそんな気持ちを先生方に伝えてほしいと思います。「今こんなことを頑張ってる」「これからこんなことを頑張りたい」も、もちろん大歓迎です。生徒一人一人を「ありのまま、そのままでかけがえのない存在」として大切にしていくことは、妙典中職員の共通の思いであり、「自分自身がそのまま素晴らしい存在である」ということを、生徒一人一人に実感してもらえよう、子供たちと関わっていきたくて願っています。教育相談が、そのきっかけの一つになるといいなと思います。

## 保護者の皆さんに感謝

毎月、PTA 運営委員会が開かれる土曜日に、おやじの会を中心とする保護者の皆さんが、草むしりなどの美化活動を実施してくださっています。休みの日にもかかわらず、多くの方にご参加いただき、敷地内の校舎周辺やフェンス際を綺麗にさせていただいて、とても助かっています。

5月29日(土)には、妙典中 PTA 伝統の組織「お花壇の会」による、花の植え替えも行われました。きれいな花を植えていただいたことで、雰囲気がとても明るくなりました。花が咲いているところを登下校するのは気持ちの良いものです。生徒たちのために環境整備にご協力いただいた皆様、お忙しい中、また暑い中での作業、ありがとうございました。

そして、この度「お花壇の会」の活動が、千葉県PTA 連絡協議会から功労表彰を受けました。子供たちのための地道な活動が評価されての受賞です。改めて賛辞と感謝をお伝えしたいと思います。

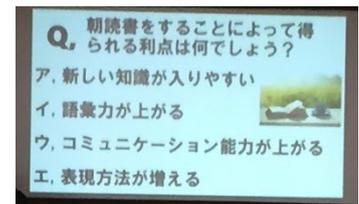


## 全校集会 & ヘルシースクール講演会

6月16日(水)に全校集会を行いました。感染予防のため体育館には3年生のみが集合し、1・2年生は大型モニターを通しての教室での参加でしたが、とても充実した時間になりました。

久々にみんなで校歌を合唱した後、まずはカウンセラーさんから「制約の多い生活の中、心に不調を感じることもあるが、それを感じられることは大切なこと」「一人で抱え込まず、誰かに相談できることは、この先社会で生きていく上で大切なスキル」「自分の考え方のくせを知り、悩んだとき『別の考え方もある』と考えられると、心の負担が軽くなる」など、貴重なお話がありました。

次に委員会による発表がありました。図書委員会からは「読書の大切さについて」。楽しくクイズに答えながら、いつの間にか本や図書館に対する興味が高まり、朝読書の意義を再確認できる、素晴らしい発表でした。生活委員会からは「学校生活について」。妙典中生の特徴であり、誇りでもある「あいさつ」について、良い例と悪い例を自分たちで撮影・編集した動画を使って、わかりやすく啓発する内容でした。3つのポイントは「笑顔(口角を上げる)」「相手の目を見る」「相手に伝わる大きな声」だそうです。この発表もよくまとまっていて感心しました。



同じ日の午後はヘルシースクール講演会を開催しました。元トライアスロン日本代表で、オリンピック選手を育てたプロコーチの青山剛さんを講師にお招きし、全校集会同様、3年生は体育館で、1・2年生は各教室でお話を聞きました。…といっても演題が「コロナ禍の体力向上」、そして講師は「スイッチマン体操」を提唱し、ストレッチの大切さを説いているトレーニングコーチですから、話を聞くというより実際に体を動かす時間がたくさんあって、まさにヘルシーな講演でした。教えてもらったストレッチは家に帰ってすぐできて、効果抜群なものばかりで、とても役立ちました。トークも軽快で楽しく、質疑応答では「一つのことで一番になれなくても大丈夫。多様なことがバランスよくできることも才能」など、大切な考え方も学ぶことができました。講演後、講師の青山コーチから「妙典中の生徒は、盛り上がるころと落ち着いて聞くとおのりの切り替えが素晴らしい。とても話しやすかった」と、お褒めの言葉をいただきました。



## 校長室より…

2階にある校長室の窓のすぐ近くにヤマモモの木があります。この時期は赤い小さな実がなるので、たくさんの鳥たちが訪れて、にぎやかにさえずりながらついばんでいる様子がよく見えます。校長室掃除を終えた2年生と一緒にそれを見ながら「なんていう名前の鳥かな」と話していたら、一人の生徒が「ムクドリですよ」と教えてくれました。以前に、別のところで見かけ、気になって調べたことがあったそうです。

この面々の掃除の態度にはいつも感心します。一つ一つの作業がとても丁寧で心がこもっているのです。この人たちに限らず、妙典中の生徒を見てみると、面倒くさそうに、いやいや掃除をしている人がいません。なんだか楽しそうに動いているように感じます。妙典中の子供たちの、豊かで、真っ直ぐな心に触れて、とてもうれしい気持ちになる日々です。

